

POWERWORKS®

取扱説明書 改訂版①

充電式  60V
LITHIUM

電動乗用草刈機

CRT426

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。



WEB でチェック！

最新の取説及び
本製品の操作の仕方などを
ご覧いただけます。



目次

はじめに	3	お手入れの仕方	28
安全上のご注意	3	本体のお手入れ	28
製品を長くご愛顧いただくために	3	刈刃ハウジングのお手入れ	28
安全にお使いいただくために	4	保管	29
電動乗用草刈機に係る安全事項	4	点検・整備の仕方	30
電動乗用草刈機の作業に係る安全事項	5	刈刃ハウジングの取外し	30
充電器に係る安全事項	6	ブレードの交換	31
バッテリーに係る安全事項	6	バッテリー容器フィルターの交換	32
バッテリーのリサイクルについて	7	グリスの塗布	33
安全ラベルの内容一覧表	8	タイヤの点検	34
主要諸元	9	タイヤ修理	34
各部の名称	10	タイヤの交換	34
梱包部品一覧	12	ギアオイル交換	34
組立て	13	刈刃ハウジング補助ローラーの位置調整	35
開梱	13	操作パネルエラー表示のご案内	36
シートの取付け	14	困ったときの対処法	38
ハンドルの取付け	15	消耗品一覧	40
マルチカバーの取付け	17	保証内容について	42
準備	18	お客様ご相談窓口	43
バッテリーパックの取付け	18		
バッテリーパックの取外し	19		
パーキングブレーキをかける	20		
シートの調整	20		
刈高の調整	21		
クルーズコントロールの設定	21		
運転操作の仕方	22		
刈込み作業	22		
刈込み作業の終了	24		
後進時の刈込みについて	25		
上手な草刈りの仕方	26		
斜面で操作する場合	26		
草刈機の輸送について（積み込み）	27		
草刈機の輸送について（積み降ろし）	27		

はじめに

このたびは電動乗用草刈機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。また故障に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

電動乗用草刈機に係る安全事項

警告



禁止

- 本機は、牧草地、雑草の多い草が生い茂った所などでご使用いただけます。
- 改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- 雨や水に濡れる場所では、使用しないでください。
- 石、鉄くずなどの多い場所では使用しないでください。
- 揮発性可燃物、腐蝕ガスのある場所では使用しないでください。
- 作業中は、子供を近づけないでください。作業員以外、本機へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
- ブレードが停止している場合でも、乗客や子供を絶対に運ばないでください。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 落雷の恐れがある場合は使用しないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 本機を人や動物に向けしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 運転中/使用直後は、モーター部は非常に高温になっていますので、手を触れないでください。



指示

- 本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、理解したうえで正しく取扱ってください。
- 使用しないとき、点検、清掃時は、必ず電源スイッチをオフにしてください。
- 使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 部品交換は、純正部品を使用してください。
- 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。
- 可動部分の位置および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 点検整備を行なう場合は電源をオフにしてください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 始動前点検を実施してください。

注意



禁止

- 指定された用途以外には使用しないでください。
- 周囲温度が、40℃以上になる場所では使用しないでください。
- お手入れに強酸性、強アルカリ性の薬剤やシンナー、ガソリン、ベンジン等は絶対に使用しないでください。



指示

- 本機をご使用になる前に、始動、停止の仕方を覚えてください。
- 水平で安定している所でご使用してください。
- 作業に適した服装を心がけてください。防護めがね、防塵マスク、手袋を着用してください。
- 定期点検整備を行ってください。
- 部品交換は、純正部品を使用してください。
- 長期保管する場合は、充電をし、火気のないところに保管してください。
- 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

安全にお使いいただくために

電動乗用草刈機の作業に係る安全事項

警告



禁止

- 身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。
- 動作中にブレードや回転部分に顔や手足を近付けないでください。
- ご使用時は、使用者から 30m 内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 急傾斜地では使用しないでください。
- 雨天時は使用しないでください。
- 舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。振動で本体が動き思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 草が湿っているときは、本機を操作しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物が絡んだりした場合には、速やかに停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 土や砂利道の上でバーナイフを回転させないでください。
- 停止中でも、直接バーナイフに触れないでください。怪我をすることがあります。
- 15°以上の急傾斜地では使用しないでください。
- 本機の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。
- 電源が入った状態で、本機を運搬しないでください。
- 石、コンクリート、金属など硬質な物がある場所では使用しないでください。



指示

- 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 坂の上では、常に足元に注意してください。
- 坂の上で向きを変えるときは、特に注意してください。
- 本機を後進するときは、特に注意してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ず電源スイッチをオフにしてください。
- 車両に堆積した草等はきれいに取除いてください。火災の恐れがあります。
- 本機を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れるときは、必ず電源スイッチをオフにしてください。
- 本機を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人以上で行ってください。
- 移動するときは、バーナイフの回転を止めてください。
- 事前に、作業範囲内の石、木片などの異物を取除いてください。
- 作業前に集草袋に穴や擦り切れがないか点検してください。

注意



禁止

- 機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。
- 電源スイッチがオンの状態で本機から離れないでください。



指示

- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、耳栓、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。

安全にお使いいただくために

充電器に係る安全事項



警告



禁止

- ・充電器は充電以外の用途には使用しないでください。火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- ・濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります
- ・充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、すぐに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- ・指定した専用バッテリー以外は使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- ・充電器の端子部を金属などで接触させないでください。
- ・充電器を金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ・充電器をラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
- ・ホコリの多い場所で充電しないでください。火災の恐れがあります。
- ・段ボールや新聞紙などの紙類、座布団などの布類、ビニール、カーペット、畳などの上では充電しないでください。火災の恐れがあります。
- ・充電器は、火への投入、加熱をしないでください。発火、破裂の恐れがあります。
- ・充電器に釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ・直射日光下の窓辺や暖房器具の近くで充電しないでください。



指示

- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。

バッテリーに係る安全事項



警告



禁止





- ・製品側のスイッチが「ON」の位置にあるときにバッテリーパックを挿込まないでください。事故につながります。
- ・バッテリーパックは専用充電器以外では充電しないでください。火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- ・雨や濡れた状態でバッテリーパックを充電しないでください。
- ・バッテリーパックを充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・改造したバッテリーパック（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。製品本体の性能や安全性を損なうだけでなく、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- ・バッテリーパックの端子部を金属などで接触させないでください。
- ・バッテリーパックを金属と一緒に工具箱などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ・バッテリーパックをラッカー、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーパックは、火への投入、加熱をしないでください。発火、破裂の恐れがあります。
- ・バッテリーパックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。



禁止





- ・バッテリーパックを火のそばや炎天下など周囲温度が40℃を上回る環境下で充電・使用・保管をしないでください。バッテリー劣化、発煙、発火の恐れがあります。
- ・高温などの過酷な条件下では、バッテリーパックから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。万が一、バッテリーの液が目に入ったら、すぐにきれいな水で十分洗い、医師の診察を受けてください。
- ・直射日光下の窓辺や暖房器具の近くで充電しないでください。
- ・使用済みのバッテリーパックは一般家庭ゴミとして捨てないでください。ゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火、発煙し事故の原因になる恐れがあります。



安全にお使いいただくために

 指示	バッテリーの液漏れが肌に付着した場合は、石鹸と水ですぐに洗ってください。
 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーパックの使用時間が、極端に短くなった場合は使用しないでください。• バッテリーパックを落としたり、何らかの損傷を与えた場合は使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーパックは、電力量が国連規定量 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。航空機や船舶で輸送する場合は、特別な梱包、申請などが必要になります。詳しくは、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。• 電力量は、バッテリーパックの注意ラベルに記載されています。(○部分)• 周囲温度が 6℃～40℃の室内環境下で充電をしてください。40℃を上回る環境下にて充電した場合、6℃～40℃環境下と比べ容量劣化が早まります。• 長期間使用しない場合でも、6 ヶ月に 1 回は充電をしてください。• この取扱説明書は、大切に保管してください。• お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。• 他の人にバッテリーパックを貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

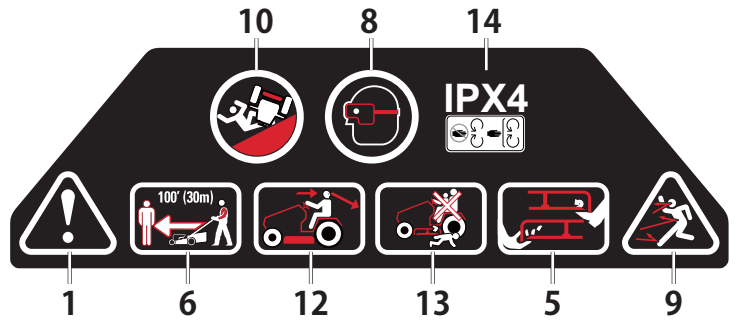


バッテリーのリサイクルについて

 注意	
 指示	<ul style="list-style-type: none">• このバッテリーは、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リサイクル可能な貴重な資源です。• ご使用済みのバッテリーパックは、分解せずにそのまま最寄りのリサイクル協力店または、各自治体にご確認ください。• 充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ https://www.jbrc.com を参照してください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"><div data-bbox="260 1335 384 1480"> Li-ion</div><div data-bbox="427 1335 531 1480"></div></div>

 警告	
 禁止	このバッテリーパックは一般家庭ゴミとして捨てないでください。 ゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火、発煙し事故の原因になる恐れがあります。

安全ラベルの内容一覧表



警告

回転するブレードは、死亡または重傷を引き起こす可能性があります。必ず注意事項を守り指示に従って安全にご使用ください。

●取扱説明書をよく読んで理解してください。●安全装置は絶対に外さないでください。●怪我のリスクを軽減するために、保護メガネ等を着用してください。●15度を超える斜面での操作をしないでください。●斜面の途中で方向転換をしないでください。●後進する前と後進中は、後ろと下を確認してください。●リバースモードボタンを押してブレード回転ON/OFF/フを引上げると、バックで草・芝刈りができますが逆刈りはお勧めできません。●急ブレーキは緊急時以外は使用しないでください。大気汚染です。●ブレードを回転させないときでも、決して子供や人を乗せないでください。●子供やペットを草・芝刈りエリアに近づけず、運転者以外の責任ある大人の監督下に置いてください。●そばに居る人が本機を通り抜けた異物で怪我をしないようにしてください。●すべての人・ペットは、本機から少なくとも 30 m は離れてください。●刈刃ハウジング（デッキ）の下に手や足を入れないでください。●火災、燃焼灰びやけなどのリスクを軽減するために、分解、粉砕、または 100°C を超える熱にさらさないでください。●火にさらしたり、焼却したりしないでください。●感電のリスクを軽減するために本機を雨、水、または過度の湿気にさらさないでください。●本機を屋内に保管し、雨ざらしや直射日光にさらしたりしないでください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

1	回避しないと死亡または重傷を負う可能性があります。潜在的な危険な状況を示します。	8	怪我のリスクを軽減するために、保護メガネ等を着用してください。
2	怪我のリスクを軽減するために取扱説明書をよく読んで理解してください。	9	ブレードに当たった異物で怪我をする恐れがありますので、草を刈る場所の異物を取り除いてください。
3	怪我の危険を回避するために手や足を回転するブレードを近づけないでください。	10	15°を越える斜面での操作をしないでください。
4	騒音から耳を守るため、適切な保護具を使用してください。	11	ヘッドライトは直視しないでください。
5	怪我の危険を回避するために、手足を回転部分から遠ざけてください。横排出カバーが適切な場所に取付けてない場合は、操作しないでください。	12	後進や方向転換するときには、常に下や後ろを確認してください。周囲に子供、大人、ペットがいないことを確認してください。
6	全ての人は、本機から少なくとも 30m は離れてください。	13	ブレードを回転させないときでも、決して子供や人を乗せないでください。
7	本機から人を離してください。	14	IPX4 は、「いかなる方向からの水の飛沫によって有害な影響を受けない」レベルの防水性能です。動作中は安全装置を開けたり、取り外したりしないでください。



警告

●怪我の危険があります。回転するブレードに手や足を近づけないでください。
 ●手や足をブレードの近くに置く前に、必ず芝刈機やブレードを停止させてください。シュートデフレクターが適切な位置にない場合は、芝刈機を運転しないでください。
 ●モーターが作動している時は、芝刈機の下や中に手や足を入れないでください。刈取る前に、ブレードによって弾かれる可能性のある物は取除いてください。

主要諸元

モデル名	CRT426
始動方法	セルスターター
モーター	ブラシレス
駆動モーター	1.2kW
モーター出力	1.2kW
電圧	60V
駆動方式	後輪駆動
登坂能力	16.7°以下
トランスミッションタイプ	ギア
回転半径	35cm
バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー
バッテリー稼働時間(※1)	最大 110 分 (バッテリー 6 個接続の場合)
充電時間	60V ダブルタイプ充電器使用 8Ah バッテリー 1 個: 約 50 分、8Ah バッテリー 2 個同時: 約 100 分
許容充電温度範囲	0 ~ 40℃
最大走行速度(前進)	12.8km/h
最大走行速度(後進)	4.8km/h
クルーズコントロール	有り
タイヤ	4 層チューブレス
フロントタイヤサイズ	15x6.00-6
リアタイヤサイズ	20x10.00-8
タイヤ空気圧	前輪 約 1.7kgf/cm ² (170kPa) ~ 約 1.8kgf/cm ² (180kPa) 後輪 約 0.6kgf/cm ² (60kPa) ~ 約 0.7kgf/cm ² (70kPa)
ブレードの数	2
刈取可能高	~ 700mm
刈高調整	7 段
刈幅	1066mm
集草袋の容量	170L
ヘッドライト	2 灯 LED
手腕の振動	0.46m/s ²
全身振動	2.47m/s ²
サイズ(幅×奥行×高さ)	1350 × 1890 × 1170mm
重量	207kg

※1 満充電にした場合。使用環境やバッテリーの状態により変わります。

実際の使用時間は、草の伸び方・草目等条件によりブレードに負荷がかかるため、使用時間は短くなります。

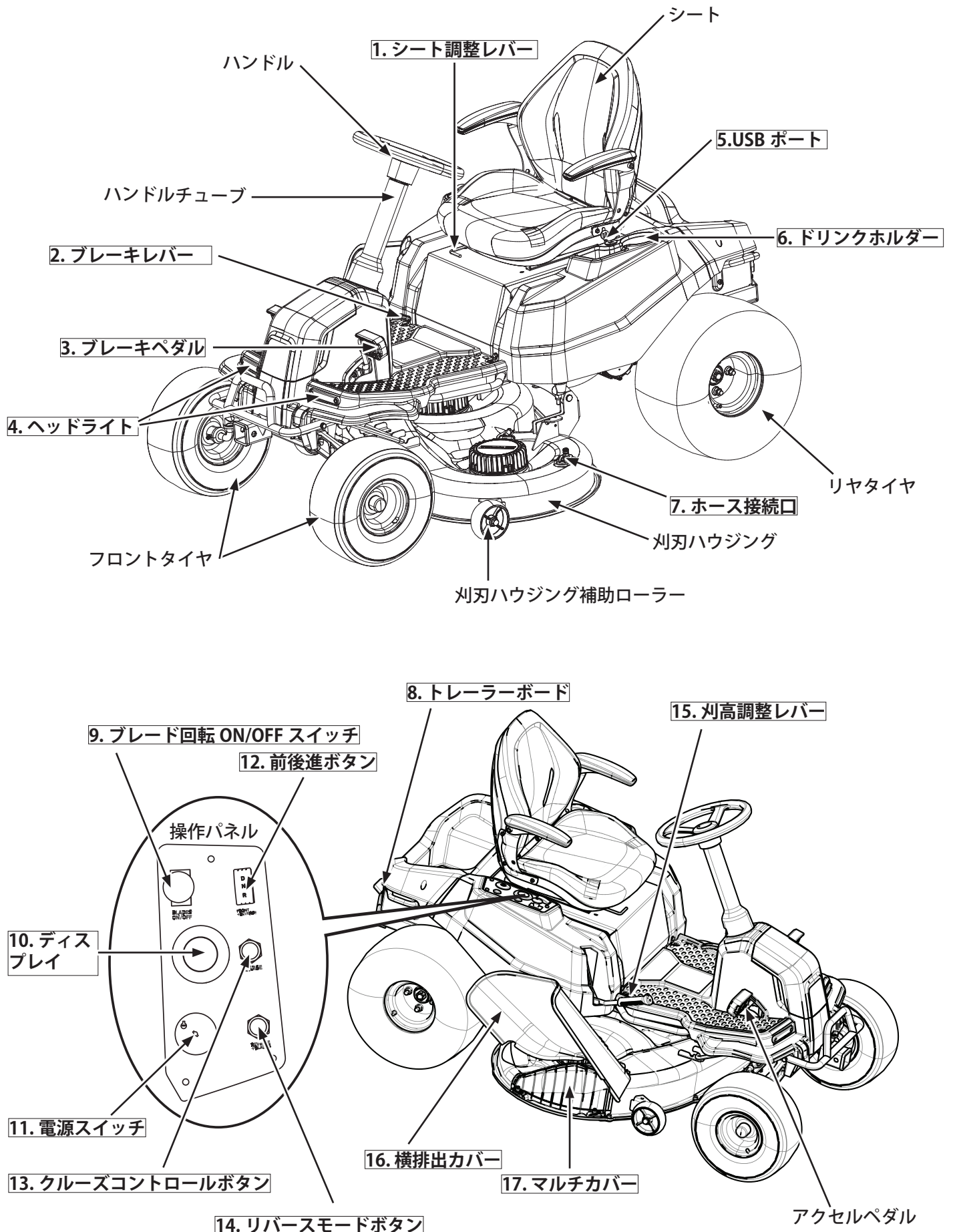
◎ハイガーは、顧客満足度 100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

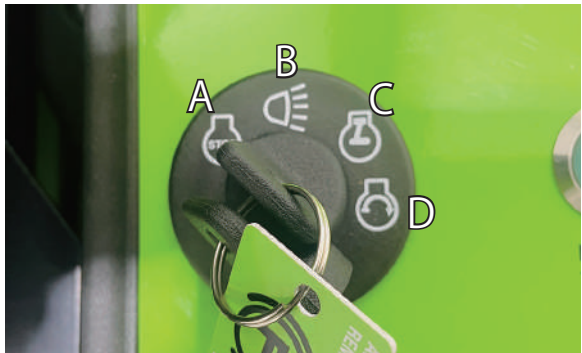
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

各部の名称

※で囲われている部位は次ページで部位説明をしております。



各部の名称

No.	名称	機能と目的
1	シート調整レバー	シート調整レバーを上げて、シートの前後位置を調整します。
2	ブレーキレバー	ブレーキレバーを上から上げてからブレーキペダルを強く踏みます。 パーキングブレーキがかかります。 解除するときは、ブレーキペダルを強く踏みます。
3	ブレーキペダル	ペダルを踏むと走行を停止します。強く踏むと急ブレーキになりますのでご注意ください。
3	アクセルペダル	ペダルを踏むと前進をします。踏み加減により速度が変わります。
4	ヘッドライト	正面を照らします。
5	USB ポート	5V DC (最大 2.1A) 電力を供給します。
6	ドリンクホルダー	飲料ボトルなどを収納します。
7	ホース接続口	ホースを接続して、刈刃ハウジング内を洗浄できます。
8	トレーラーボード	トレーラー等で牽引するためのステーです。公道は走行できません。
9	ブレード回転 ON/OFF スイッチ	電源オンの状態でブレード回転 ON/OFF スイッチを上を持ち上げると、ブレードが回転します。ブレード回転 ON/OFF スイッチを押すと、ブレードが停止します。
10	ディスプレイ	電源を起動するとバッテリー残量やエラー表示を確認できます。
11	電源スイッチ	シリンダーにスタートキーを挿込み、時計回りで D の位置まで回すと本体の電源がオンになり、C (起動中) の位置に戻ります。 A まで戻すと電源オフ。B はヘッドライト点灯。 
12	前後進ボタン	D (前進) / N (ニュートラル) / R (後進) を選択します。
13	クルーズコントロールボタン	前進運転中にクルーズコントロールボタンを押すと、現在の走行速度を一定に保ちます。アクセルペダルを踏み続ける必要がありません。 解除するときは、アクセルペダルかブレーキペダルを踏みます。 後進時にはクルーズコントロールの機能は無効です。
14	リバースモードボタン	No.19 のブレード回転 ON/OFF スイッチを押込んで、リバースモードボタンを押続けながら、アクセルペダルを踏むと、後進しながら刈取りをします。 リバースモードボタンを放すと逆刈り機能が解除されます。リバースモードボタンを押続けないと、後進時にブレードが始動しません。
15	刈高調整レバー	ブレードの高さを変えることができます。
16	横排出カバー	側面排出口から刈草を吐き出します。
17	マルチカバー	側面の排出口をふさいで、ブレードで草を細かく切ることができます。 ※長い草は細かく切ることはできません。

梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですがハイガーまでご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. ハンドル</p> 	<p>C. シート</p> 
<p>D. ハンドルシャフト</p> 	<p>E. ハンドルチューブ</p> 	<p>F. スタートキー</p> 
<p>G. バッテリチャージャー</p> 	<p>H. バッテリー</p> 	<p>I. マルチカバー</p> 
<p>J. パーツセット</p> 		<p>K. ハンドルカバー</p> 

※上記写真はプロトタイプのため、製品仕様と異なる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

※本取扱説明書では、本体の色が緑色と黒色になっていますが、製品版は黒色と赤色のタイプになります。

※パーツセットにあるカブラーは、本製品では使用しない部品です。

組立て

開梱

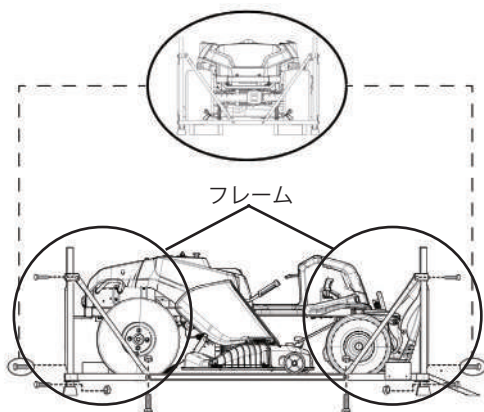
お買い上げ時にはブレースやフレームで製品を保護しています。組立前にコーナーブレース、サイドブレースの取外しをお願いします。

- 1** 部品が入っている箱や梱包材を取出します。

⚠️ 注意

製品を注意深く検査し、十分に操作するまで、梱包材料は廃棄しないでください。

- 2** 左右の鉄のフレームを固定している 10mm のボルトと 13mm のナットを取外し、フレームを持ち上げて取外します。



- 3** フレームに固定しているナイロンストラップをカットします。

- 4** 刈高調整レバーを一番上に上げて、刈刃ハウジングを上げます。



- 5** パーキングブレーキを解除します。
ブレーキペダルを強く踏み込むと「ガチャン」と鳴り、パーキングブレーキが解除されます。



⚠️ 注意

ブレーキペダルは、強く踏まないでパーキングブレーキが解除されませんので、ブレーキペダルを強く踏んでください。

- 6** 本体を手動で後ろに引いて、土台フレームから本体を下ろします。

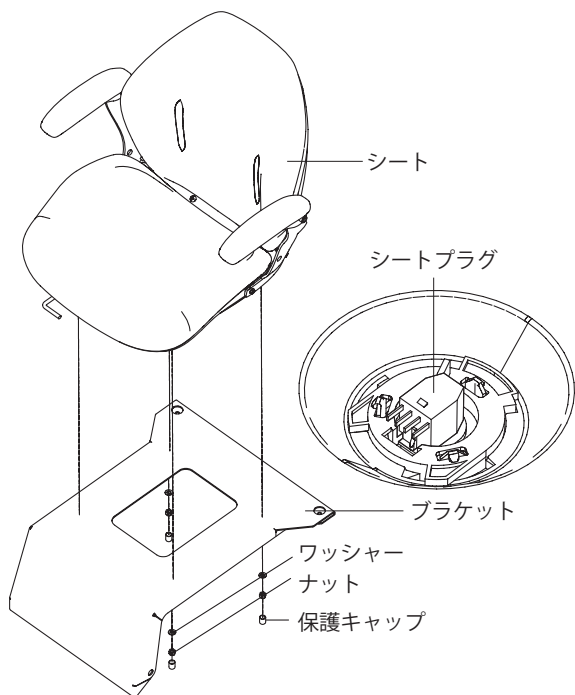


⚠️ 注意

安全のため、フレームから本体を下ろすときは、複数人でゆっくりと下ろしてください。足をぶつけないように注意してください。

組立て

シートの取付け



1 パーツセットからパーツ A を取出します。



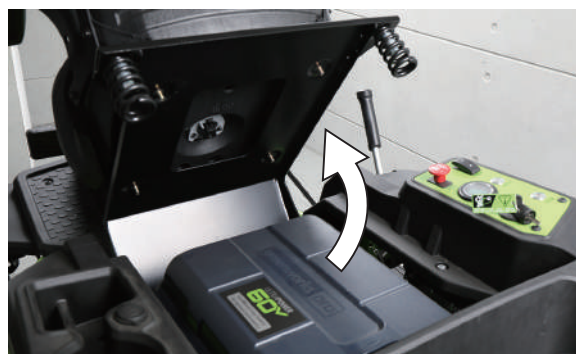
2 シート裏のシート調整レールの位置を左右で合わせます。



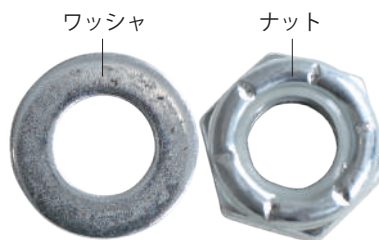
3 シートのボルトにブラケットの穴を合わせて、挿込みます。



4 シートにブラケットを取付けた状態で、シートを前方に持ち上げます。



5 パーツ A のナットとワッシャを 4 か所のボルトに取付けて、付属のレンチで締付けます。



組立て

6 保護キャップを4カ所のナットに取付けます。



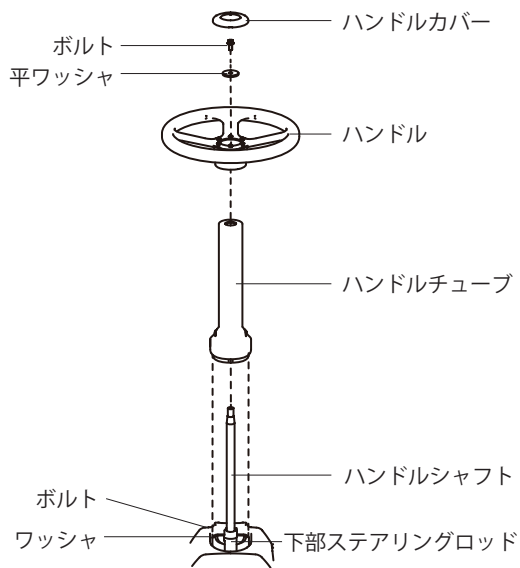
7 バッテリー室の外にあるプラグをシート下の端子に挿入します。



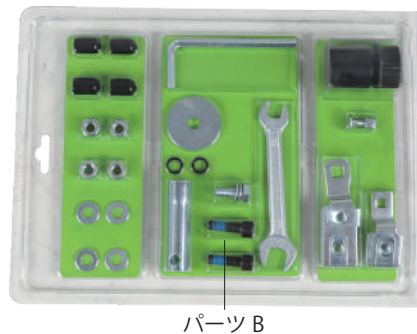
8 シートを戻します。



ハンドルの取付け



1 パーツセットからパーツ B を取出します。



2 下部ステアリングロッドにパーツ B の六角ボルトとワッシャを挿入します。



組立て

- 3** ハンドルシャフトを下部ステアリングロッドに入れて、シャフトと下部ステアリングロッドの取付穴を合わせます。



- 4** パーツ B の六角ボルトとワッシャを挿込み、付属の六角レンチで 2 つの六角ボルトを締付けます。



- 5** ハンドルチューブをハンドルシャフトに通します。ハンドルチューブのくぼみを下側にして通します。



- 6** ハンドルを向きに注意して、ハンドルシャフトにハンドルを取付けます。



- 7** パーツ B の平ワッシャ、ボルト、ワッシャを取付け、ボルトを付属のレンチで締付けます。



- 8** 最後に付属のハンドルカバーを取付けます。



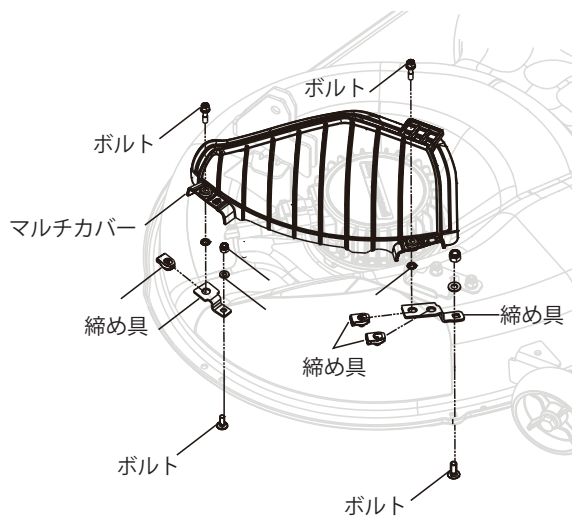
組立て

マルチカバーの取付け

本機は、出荷時に横排出用に構成されています。マルチングが必要な場合、マルチカバーを取付けます。

⚠️ 注意

長い草は詰まる可能性があるため、マルチングできません。



- 1** パーツセットからパーツCからクランプ大小、ボルト一式を取出します。



パーツC



クランプ小

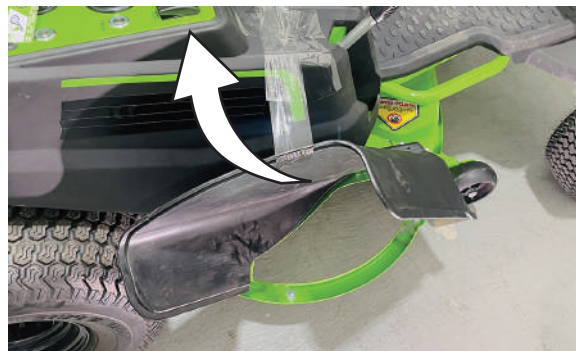


クランプ大

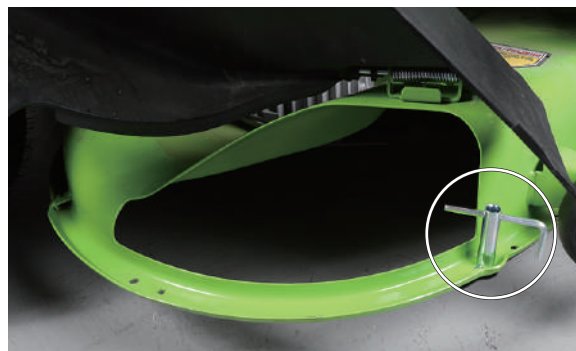


ボルト一式

- 2** 横排出カバーを上げます。
必要なら横排出カバーを上げたままのようにテープ等で固定してください。



- 3** 右側に固定されているボルトを付属の工具で取外します。



- 4** 左側にクランプ小とボルト一式、右側にクランプ大と手順3で取外したボルトを付属の工具で取り付けます。

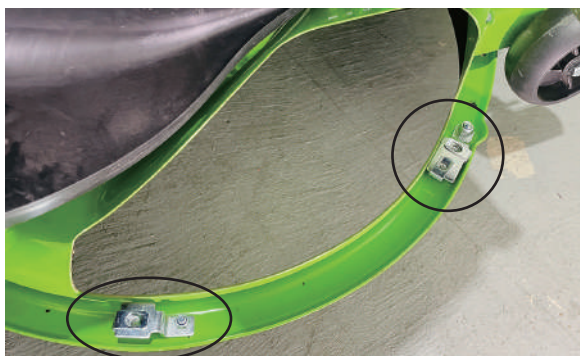


左側 (クランプ小)



右側 (クランプ大)

準備



5 マルチカバーをタブに引っ掛けます。



6 マルチカバーに付いているネジを閉めて、クランプに固定します。取付けは以上です。



バッテリーパックの取付け

お買い上げ時は、バッテリーパックは十分に充電されていません。ご使用前に専用の充電器で正しく充電してからご使用ください。

充電の仕方は、バッテリーパックと充電器の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- バッテリーパックの充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
- 屋外に保管したり充電したりしないでください。
- 必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- バッテリーパック、充電器を分解しないでください。
- バッテリーパックの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しないでください。
- 周囲温度が 40℃を上回る環境下にて充電・使用・保管をしないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリーパックまたは充電器が損傷している場合は、交換してください。
- バッテリーパックの取付けまたは取外しを行う前に本機を停止し、モーターの回転が停止するまで待ってください。
- バッテリーパックと充電器の取扱説明書を読んで理解してからご使用ください。

1 シートを前方に持ち上げ、バッテリー挿入口カバーを開きます。



準備

- 2** バッテリー挿入口の溝にバッテリーパックを合わせ、スライドさせ1個または2個挿込みます。(最大6個まで使用可能。挿入場所はどこに入れても可)



- 3** 「カチッ」と音がするまで押込みます。



- 4** バッテリー挿入口カバーを閉じ、シートを元に戻します。



バッテリーパックの取外し

- 1** バッテリー挿入口カバーを開きます。
- 2** バッテリーパックのリリースボタンを親指でバッテリー側に押します。



- 3** バッテリーパックを引抜きます。



⚠ 注意

バッテリーを取出す際、落下させないように十分ご注意ください。

各部の取扱い

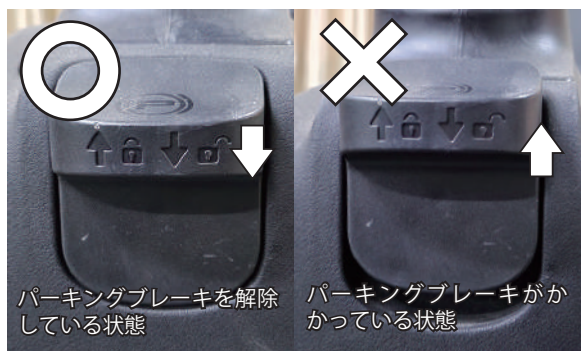
パーキングブレーキをかける

- 1 ブレーキレバーを上を上げて、ブレーキペダルを強く踏み込むと、パーキングブレーキがかかります。



- 2 ロック後ブレーキペダルから足を放します。

- 3 パーキングブレーキを解除するときは、ブレーキペダルを強く踏み込むとブレーキペダルが戻ります。



警告

本機から少しの間でも離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、電源スイッチを「OFF」にしてスタートキーを抜いてください。

シートの調整

乗用草刈機を操作する前に、シートの位置を調整してアクセルペダルやブレーキペダルがしっかりと踏込めるようにします。

- 1 パーキングブレーキをかけます。
- 2 シートに座り、シート調整レバーを持ち上げ、その状態でシートをスライドさせ、アクセルペダル、ブレーキペダルを踏込める位置にします。



- 3 シート調整レバーを放すとシート位置がロックされます。

警告

シートが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、作業中にペダルを踏込めずに重大な事故の原因になります。

各部の取扱い

刈高の調整

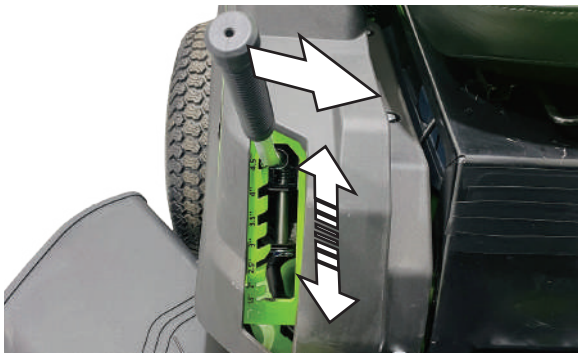
乗用草刈機を使用する前に、ブレードの高さを草に最適な切断位置まで調整してください。

⚠注意

本機の輸送時には、ブレードの地面からの高さを最大に設定してください。

1 パーキングブレーキをかけ、電源スイッチを「OFF」にします。

2 刈高調整レバーは右にずらして各溝に入れて高さを調整します。(全7段)



3 最低刈高は約40mm、最大刈取可能高は約700mmとなります。



クルーズコントロールの設定

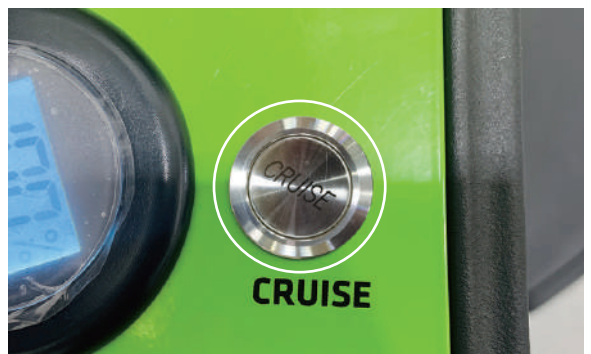
アクセルペダルを踏み続けることなく、乗用草刈機を一定の速度に保つことができます。

⚠注意

- 比較的滑らかで真っ直ぐな場所でご使用ください。
- 斜面や起伏の多い地形では使用しないでください。

1 アクセルペダルを踏み、最適な走行速度になったらクルーズコントロールボタンを押すとボタン周りのランプが点灯します。

※低速の場合は、クルーズコントロールが設定できません。



2 アクセルペダルを放しても走行速度は一定に保たれます。

3 クルーズコントロールを解除するには、以下のいずれかの操作を行ってください。

1. アクセルペダルを踏む
2. ブレーキペダルを踏む

運転操作の仕方

警告

- ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・作業中は、子供を近づけないでください。作業員以外、本機へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- ・運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・15°以上の急傾斜地では使用しないでください。転倒の危険があります。

注意

- ・作業に適した服装を心がけてください。防護メガネ、耳栓、防塵マスク、手袋を着用してください。
- ・草が湿っているときは、本機を操作しないでください。
- ・石、コンクリート、鉄くずなどの多い場所や揮発性可燃物、腐蝕ガスのある場所では使用しないでください。
- ・作業中に異物に当たったり、異物が絡んだりした場合には、ブレード回転 ON/OFF スイッチを押しブレードの回転を停止し、電源スイッチを「OFF」にしスタートキーを抜いてから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。

刈込み作業

注意

必ずパーキングブレーキをかけてから電源スイッチを「ON」にしてください。

- 1 ブレード回転 ON/OFF スイッチが押込まれていることを確認します。

写真は押込まれている状態



- 2 シートに座り、電源スイッチにスタートキーを挿込み「ON」にします。



- 3 4秒後にビープ音「ピー」と1回鳴り、本機のシステムのセルフチェックを完了します。

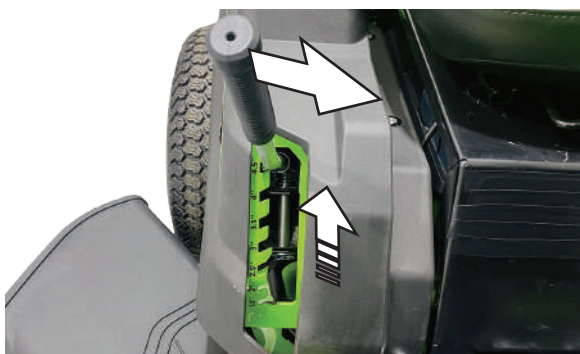
- 4 ディスプレイが点灯していることを確認します。



バッテリー残量	挿入されているバッテリーの総残量が表示されます。
総稼働時間	稼働時間が表示されます。
時報	時間経過が表示されます。
エラーコード	本体に不具合がある場合にエラーコードが表示されます。エラーコードの詳細は P.36 参照。

運転操作の仕方

- 5** 高さ調整レバーで刈高を1番上に上げます。



- 6** ブレード回転ON/OFFスイッチを持ち上げ、ブレードの回転音に異常がないか確認します。

写真は持ち上がっている状態



- 7** シートから降りずに、シートから腰を上げて5秒以内にブレードの回転が止まることを確認します。ブレードの回転が止まらなければ、P.38の「困ったときの対処法」を参照してください。



- 8** 問題がなければ、一旦ブレード回転 ON/OFF スイッチを押込みます。

写真は押込まれている状態

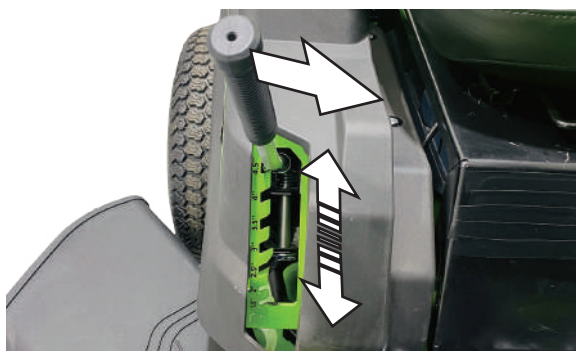


- 9** パーキングブレーキを解除します。

- 10** 前後進ボタンを「D」側に押し、アクセルペダルを踏み、草刈り場所まで移動します。



- 11** 草刈り場所に着いたら、高さ調整レバーで希望の刈高に調整します。



運転操作の仕方



- 12** ブレード回転 ON/OFF スイッチを再度持ち上げブレードを回転させ、アクセルペダルを踏み作業を開始します。

⚠ 注意

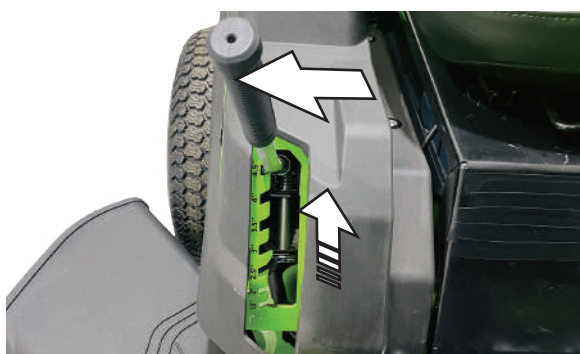
本機に乗降する際、刈刃ハウジングに足をかけないでください。破損します。

刈込み作業の終了

- 1** ブレード回転 ON/OFF スイッチを押込みブレードの回転を止めます。



- 2** アクセルペダルから足を放し、ブレーキペダルを踏込みます。
- 3** 高さ調整レバーで刈高を1番上に上げます。



- 4** アクセルペダルを踏み所定の場所に移動します。
- 5** 所定の場所に着いたら、前後進ボタンをニュートラルにし、パーキングブレーキをかけ、電源スイッチを「OFF」にし、スタートキーを抜きます。

⚠ 注意

他者の不正使用により事故になる可能性があるため、本機から離れるときは、パーキングブレーキをかけスタートキーを抜いてください。

- 6** 使用後は必ずお手入れをしてください。(P.28 参照)
- 7** バッテリーを抜いて、充電します。

運転操作の仕方

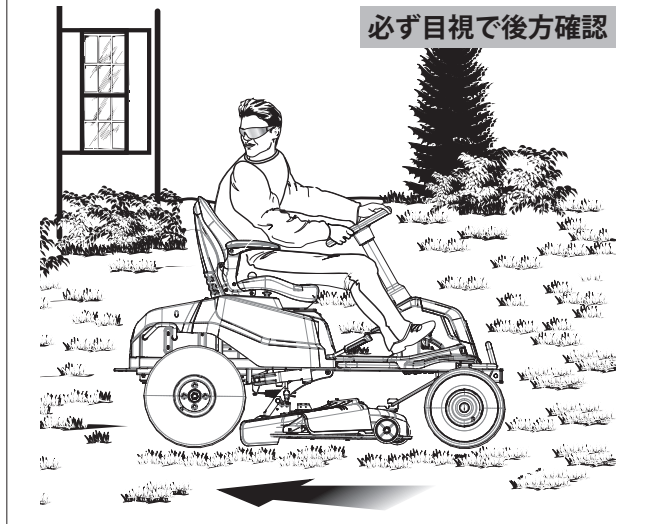
後進時の刈込みについて

本機では後進時でも刈込みが可能です。安全面からみてお薦めはいたしません。



- 後方を確認しながらの作業になりますので十分に注意してください。
- 注意を怠ったほんの一瞬で重大な事故につながります。

必ず目視で後方確認



1 ブレーキペダルを踏んで、完全に停止します。

2 前後進ボタンを「R」側に押しします。



3 ブレード回転 ON/OFF スイッチを持ち上げ、ブレードを回転させます。

写真は持ち上がっている状態



4 リバースモードボタンを押し続けながら、アクセルペダルを踏むと、後進しながら刈取りをします。



5 刈り機能を解除するには、リバースモードボタンを離すと、ブレードの回転が止まり、後進も止まります。

6 ブレードの回転は止まっていますが、ブレード回転 ON/OFF スイッチを押込みます。

写真は押込まれている状態



リバースモードボタンの動作は、電源スイッチを「OFF」にするたびにリセットされます。

運転操作の仕方

上手な草刈りの仕方

上手な草刈りの仕方

■ブレードを鋭利に保つ

硬いものにブレードを当てないように、事前に異物を取除くことで、ブレードの欠けや曲がりなどの破損を回避したり、消耗を遅らせることができます。

■徐々に刈高を下げる

日をおいて徐々に刈高を低くすることで、草を傷めずにきれいに刈れます。また、草刈機にも負荷をかけません。その際、毎回刈る方向を変えて重ね刈りすることできれいになります。

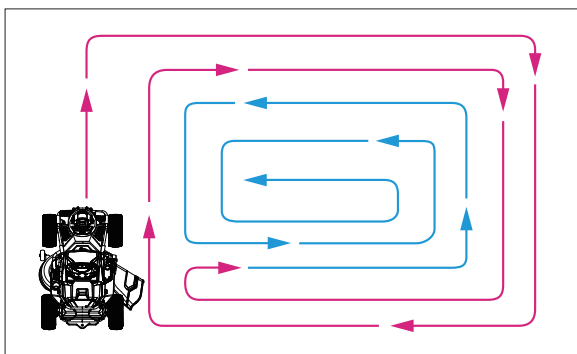
■刈るスピードはゆっくり

早すぎるときれいに刈れません。また、詰まりやすくなります。

■濡れた草は刈らない

濡れた草は刈れません。乾いてから刈ります。

- 1 広い場所を刈取るときは、刈取った草が低木、フェンス、私道などから出ないように右に回ることから始め、1、2周したら反対方向に刈取り、最後まで左回りをします。



- 2 排出された草が、既に刈取られた草地方向に出るように刈取ります。

- 3 重い草を刈る場合は、刈取りをより効果的に、適切に排出するために速度を落としてください。

- 4 新しい草や厚い草では、刈取り幅を狭くしたり、刈取り高さを高くしたりする必要があります。

- 5 刈刃ハウジングと横排出カバーを清潔に保ってください。

注意

- 濡れた草は刈らないでください。刈刃ハウジングの下側に張り付き、詰まりの原因になります。
- 急な旋回はしないでください。
- 必ず草刈機を停止し、ブレードを完全に停止させ、スタートキーを取外してから刈刃ハウジングの下を掃除してください。

斜面で操作する場合

警告

- 15°を超える傾斜の坂の上で、草を刈らないでください。
- 斜面の途中で方向転換をしないでください。転倒の恐れがあります。
- 濡れた草を刈らないでください。濡れた草はブレーキが機能していても、タイヤがトラクションを失ったり、坂道を滑ったりします。
- 滑ったりつまずいたりする可能性のある穴、轍、岩、隆起に注意してください。
- 坂道での停止は避けてください。やむを得ず停止する場合は、必ずパーキングブレーキをかけてください。

- 1 斜面を横切ってではなく、上下に刈取ります。



最大 15°

運転操作の仕方

草刈機の輸送について(積み込み)

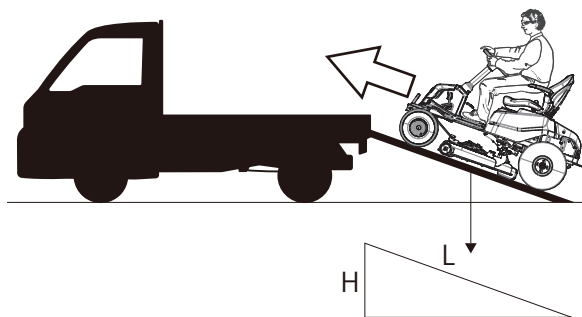
本機の積み込みは、平坦な場所で行ってください。
また、バッテリー残量が十分あることを確認してください。

警告

- トラック等に積み込む場合は、必ずラダーをご使用ください。
- ラダーは本機の重量+作業者の体重に耐えられる物を使用してください。
- 本機を吊っての積み込みは、フレームの変形や破損の原因、転落等で大変危険です。絶対に行わないでください。
- ラダーから踏み外したり、つまづいたりした場合、本機が作業者に覆いかぶさってくることもあり、大変危険です。
- ラダーの途中で本機を停止させないでください。万が一停止した場合は、ハンドルをしっかり握り、ラダーから踏み外さないよう慎重にゆっくり降りて、平坦な場所で再スタートをしてください。

1 本機を水平面に駐車します。

2 安全のため、ラダーの傾斜角度が15度以下になるようにします。



H	ラダーまでの高さ	500mm	600mm	700mm
L	ラダーの長さ	2.5m	3.1m	3.5m

3 アクセルペダルをゆっくり踏み前進させ、ラダーから荷台に乗せます。

4 所定の場所に着いたら、前後進ボタンをニュートラルにし、パーキングブレーキをかけ、電源スイッチを「OFF」にし、スタートキーを抜きます。

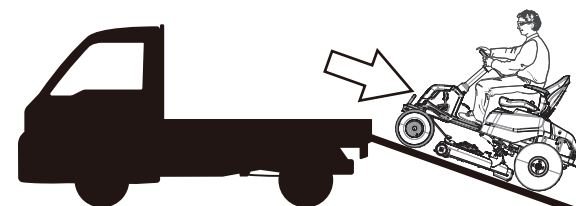
5 必要に応じて本機をロープ等で固定します。

草刈機の輸送について(積み降ろし)

本機の積み降ろしは、平坦な場所で行ってください。
また、バッテリー残量が十分あることを確認してください。

1 本機を水平面に駐車します。

2 本機のバックペダルをゆっくり踏み後進させ、荷台からラダーに移動しゆっくり降りて行きます。



お手入れの仕方

本体のお手入れ



警告

必ず電源を「OFF」にしスタートキーを抜いてからお手入れを行ってください。

- 1 本体に付いた草やホコリなどをきれいに取除きます。次回気持ちよく使用できるように毎回お手入れをしてください。



注意

- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品の清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。
- ブレードや刈刃ハウジングをお手入れする場合は、必ず手袋を着用してください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因になります。

刈刃ハウジングのお手入れ

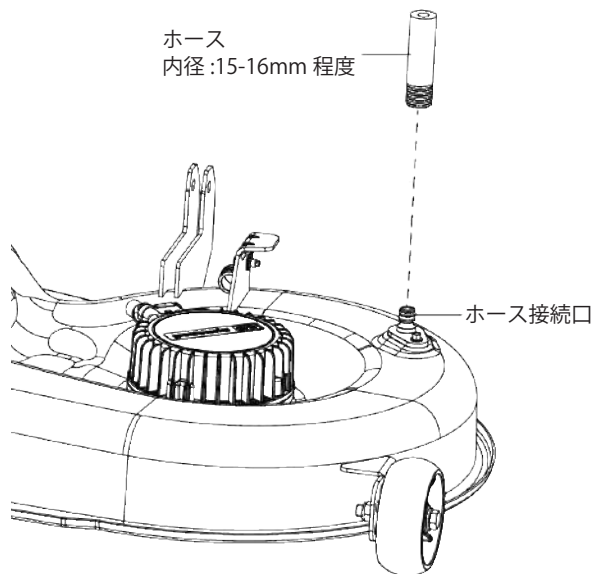
本機は、刈刃ハウジングを取外さなくても、ハウジング内を流水で清掃することが可能です。

ただし、全ての汚れを除去することはできませんので、定期的に刈刃ハウジングを取外し、お手入れを行ってください。(刈刃ハウジングの取外しは P.30 参照)

- 1 高さ調整レバーで刈高を一番下に下げます。



- 2 お持ちのホースをホース接続口に接続します。ホースが外れやすい場合は、ホースバンド等で固定してください。



- 3 ホースを水道の蛇口と接続し、水を出します。
- 4 シートに座り、パーキングブレーキをかけた後、電源スイッチにスタートキーを挿込み「ON」にします。
- 5 ブレード回転 ON/OFF スイッチを持ち上げ、ブレードを回転させます。1分間、ブレードを回転させます。

写真は持ち上がっている状態



- 6 ブレード回転 ON/OFF スイッチを押込みブレードの回転を止めます。

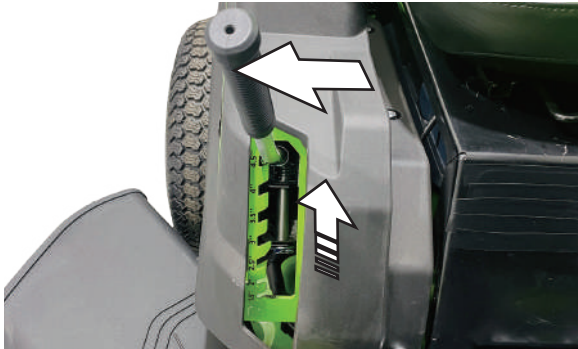
写真は押込まれている状態



お手入れの仕方

7 水道の蛇口の水を止めて、ホースを取外します。

8 高さ調整レバーで刈高を1番上に上げます。



9 電源スイッチを「OFF」にしスタートキーを抜きます。
刈刃ハウジング内の洗浄は以上です。

保管

⚠ 注意

- 雨風の当たるところには保管しないでください。
- 腐食性の物質（肥料や岩塩等）のそばに保管しないでください。
- 通気性の無いカバーで本体を保管しないでください。湿気を閉じ込め、錆や腐食の原因になります。
- 子供の手の届く所には保管しないでください。
- 不正使用や盗難防止のため、スタートキーは必ず抜いて保管してください。

1 保管する前に本機のお手入れをします。

2 本機を保管するときは、モーターが熱くないことを確認します。

3 バッテリーパックは満充電にします。バッテリーは自然放電をしますので、長期間使用しない場合でも、3カ月に1回は充電をしてください。

4 子供や第三者に不用意に操作されないようにスタートキーを抜き管理をお願いします。

点検・整備の仕方



警告

- 安全を確保し作業を行ってください。
- 点検、清掃時は、必ずスタートキーを抜いてください。
- 改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。

対象部品	運転前の点検	24 時間運転毎	50 時間運転毎	100 時間運転毎	200 時間運転毎	保管前
ブレーキの動作確認	●					
タイヤの空気圧確認	●					
接続部の緩み確認	●					●
本体のお手入れ	●		●			●
ブレードの確認・交換		●	●			
ギアオイル交換			●		●	
バッテリー容器フィルター交換					●	
可動部の潤滑油塗布		●				

※ホコリの多い場所で本機を使用する場合は、メンテナンスをより頻繁に行う必要があります。

刃ハウジングの取外し

刃ハウジングを本体から取外すことで、ブレードの点検や交換を容易にします。



警告

- 手袋を着用して行ってください。
- 作業は2人以上で行ってください。

1 パーキングブレーキをかけ、電源スイッチを「OFF」にし、スタートキーを抜きます。

2 高さ調整レバーで刃高を一番下に下げます。



3 刃ハウジングを固定しているスナップピンとボルトを取外します。左右2カ所ずつあります。



警告

刃ハウジングの内側には、ブレードがありますので、刃ハウジングを支える際に刃ハウジング内に手が入らないよう十分ご注意ください。また、必ず手袋着用にてお願いします。



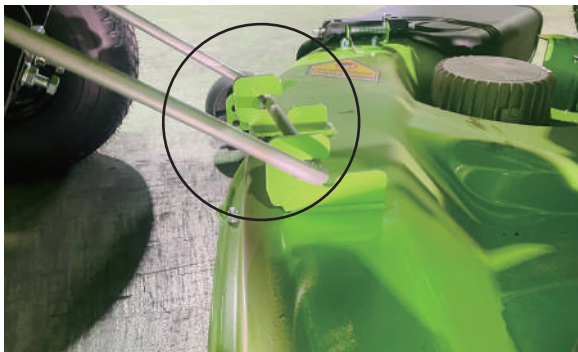
4 刃ハウジング上部にあるモーターに接続しているコードを取外します。



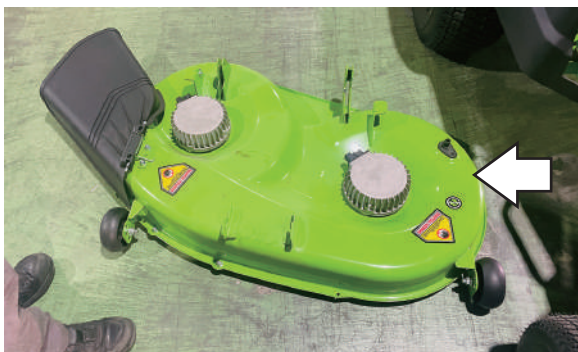
点検・整備の仕方



5 刈刃ハウジングを引っかけている金具を取外します。
刈刃ハウジングが完全に取外しできました。



6 刈刃ハウジングを本体下から引き出します。



7 取付けは取外しと逆の手順で行います。このとき左右を間違えないようにご注意ください。

ブレードの交換

⚠ 警告

- 交換は専用ブレードのみを使用してください。
- ブレードに触れるときは、厚い手袋を着用して行ってください。
- 作業は2人以上で行ってください。

■ 使用工具（インチ工具）：16 mmのレンチ、トルクレンチ、手袋、板

⚠ 注意

レンチのサイズが合わないとボルトをなめてしまいますので、サイズの合ったものをご使用ください。

1 前項の「刈刃ハウジングの取外し」を行い、刈刃ハウジングを取外します。

2 刈刃ハウジングを慎重に裏返しにし、コンクリートの壁などに立てかけます。



3 ブレードボルトを16mmのレンチで反時計回りに回します。

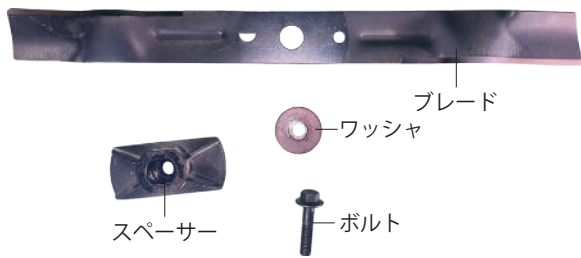


⚠ 警告

安全のため、板等をブレードに挟んでからボルトを取外してください。

点検・整備の仕方

4 ブレード、ボルト、ワッシャ、スペーサーを取外します。



5 新しいブレードを用意します。新しいブレードの中央にある2つの円の穴が、ブレードホルダーの円に合うようにして取付けます。



6 スペーサー、ワッシャ、ブレードボルトを取付け、ブレードと刈刃ハウジング内の壁の間に板等を挟みます。



ワッシャはへこんでいる方を手前にして、ボルトと挿込んでください。



7 トルクレンチを使用して、ブレードボルトを時計回りに締め、確実に固定します。ブレードボルトの推奨トルクは 90 N.M です。



警告

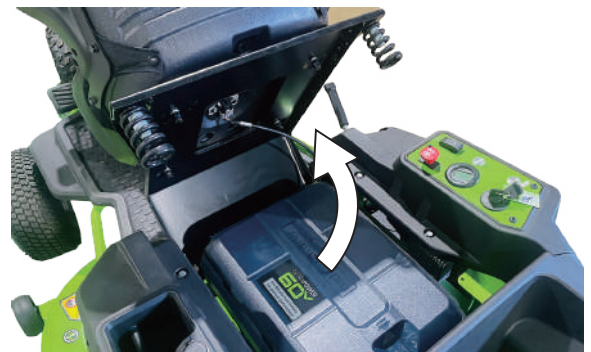
ブレードが正しく取付けられていること、およびブレードボルトが上記のトルクに合わせて締付けられていることを確認してください。ブレードを正しく取付けないと、作業中にブレードが外れて重大な事故になる可能性があります。

バッテリー容器フィルターの交換

バッテリー容器の外にあるフィルター交換を、操作パネルの累計運転時間を目安に 200 時間毎に行ってください。

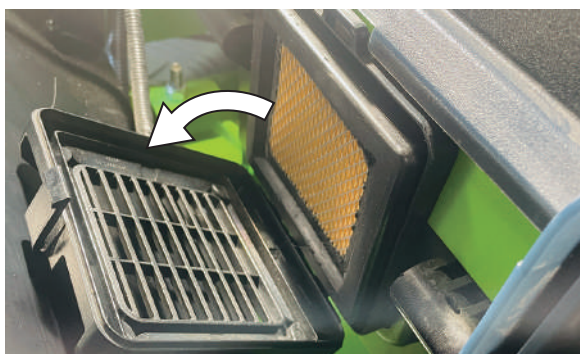
1 パーキングブレーキをかけ、電源スイッチを「OFF」にし、スタートキーを抜きます。

2 シートを前方に持ち上げます。

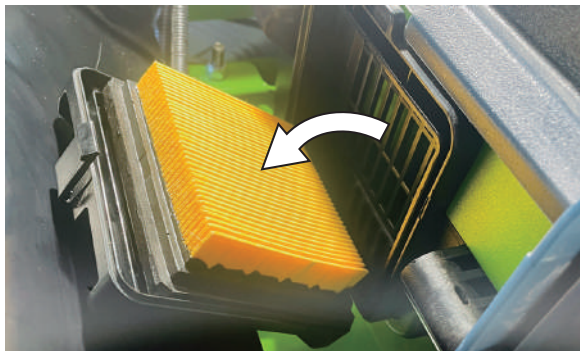


点検・整備の仕方

- 3** バッテリー容器の前にあるフィルタカバーを取外します。



- 4** 中にあるフィルターを取外して新しいフィルターと交換します。

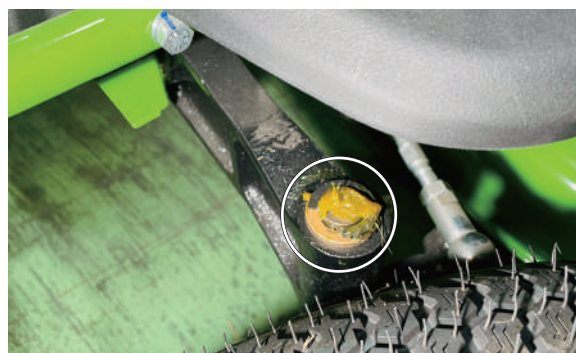


- 5** 取外しと逆の手順で取付けます。

グリスの塗布

本機の使用後は、タイヤの前輪にグリスを補給します。
※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

- 1** パーキングブレーキをかけ、電源スイッチを「OFF」にし、スタートキーを抜きます。
- 2** グリス、グリスガンを準備します。
- 3** タイヤの前輪の裏にあるグリスが付いている部分にグリスを充填します。



点検・整備の仕方

タイヤの点検

本機には、以下に示すタイヤサイズとチューブレスタイヤを採用しています。空気圧を正しく維持しないと、本機の動作と安定性に問題が生じます。

	フロント	リヤ
サイズ	15x6.00-6	20x10.00-8

- 1 使用前にすべてのタイヤの空気圧を確認してください。(タイヤが冷えているときに測定)



フロントタイヤ

リアタイヤ

- 2 空気圧が不足している場合は、空気を充填してください。(タイヤが冷えているときに充填)

推奨空気圧	
前輪	約 1.7kgf/cm ² (170kPa) ~ 約 1.8kgf/cm ² (180kPa)
後輪	約 0.6kgf/cm ² (60kPa) ~ 約 0.7kgf/cm ² (70kPa)

- 3 タイヤのホイールのナットをトルクレンチを使用して、確実に固定されているか確認します。ナットの推奨トルクは 120 N.M です。

警告

- 空気を入れている間、タイヤの空気圧を注意深くチェックしてください。空気が多すぎると、タイヤが破裂し、重傷を負う可能性があります。
- 空気が少なすぎると、タイヤがホイールリムから外れる可能性があります。

注意

不適切な空気圧は、ハンドリング、ステアリング応答、トラクション、タイヤ寿命および操縦者の快適性に影響を与えます。

タイヤ修理

タイヤのパンクが生じた場合は、プラグタイプやヒモタイプの修理材を使って修理することができます。切り傷による損傷の場合、またはパンクを修復できない場合は、タイヤを交換する必要があります。

タイヤの交換

タイヤが摩耗すると、草刈機のトラクションが低下し、事故の可能性が高くなります。

トレッドの深さが無くなったり、またはタイヤに損傷がある場合にタイヤを交換する必要があります。

注意

常に同じ交換用タイヤを使用してください。本機に不適切なタイヤを使用すると、制御が失われ、重大な事故になる可能性があります。

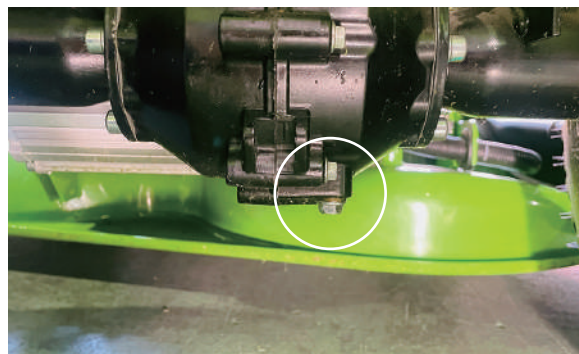
ギアオイル交換

ギアオイル交換を、操作パネルの累計運転時間を目安に初回運転時 50 時間後と 200 時間毎に行ってください。

推奨オイル	ギヤオイル SAE85W-90
オイル量	130ml

■排出方法

- 1 廃油受けをご用意します。
- 2 リアタイヤのシャフトにあるドレンボルトを緩めるとオイルが流れ出ます。

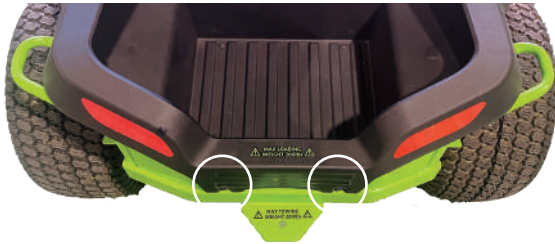
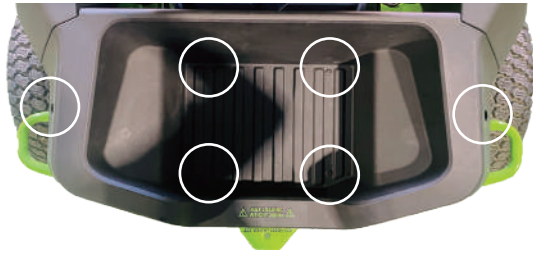


- 3 排出が終わったらドレンボルトを締付けます。

点検・整備の仕方

■給油方法

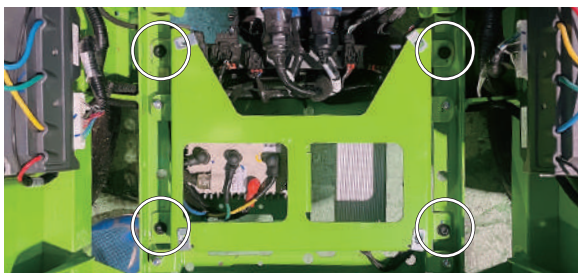
1 荷室の 8 カ所の六角ボルトを取外します。



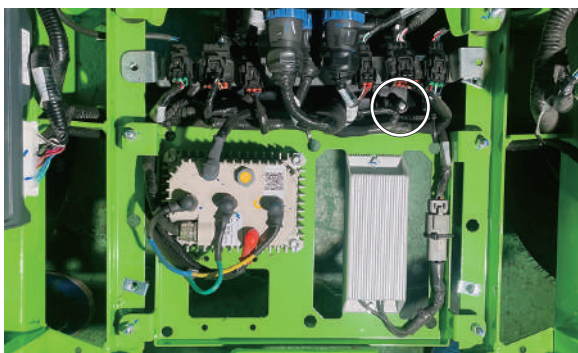
2 黒い荷室部分を取外します。



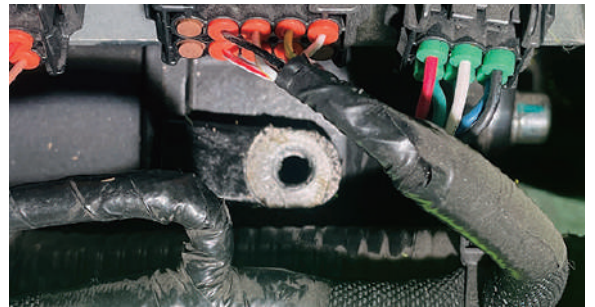
3 中のブラケットを固定している 4 カ所の六角ボルトを取外し、ブラケットを取外します。



4 給油口の 12mm のボルトを取外します。



5 給油口の内径は小さいため、先の細いオイルヤ漏斗等で給油をしてください。



6 取付けは取外しと逆の手順で行います。給油後はしっかりボルトを締付けてください。

刈刃ハウジング補助ローラーの位置調整

刈刃ハウジング補助ローラーの位置を調整できます。

■使用工具：19 mm のレンチ 2 本

1 ローラーを固定しているボルトを 2 本のレンチで取り外します。



2 ローラーの取付け穴を変更して、取外しと逆の手順でローラーを取付けます。



操作パネルエラー表示のご案内

使用状況により、操作パネルにエラーコードが表示されることがあります。下記に従い対処をしてください。



エラー表示	症状	原因	対処
V12	通信モジュールエラー	左ブレードコントローラーの通信異常	メーカー、購入店に問い合わせ
V13		左ブレードコントローラーの通信モジュールの故障	
		右ブレードコントローラーの通信異常	
V21		右ブレードコントローラーの通信モジュールの故障	
		通信モジュールの異常	
V15		電源入れても動作しない	
	クルーズコントロールボタンが固着している		クルーズコントロールボタンを確認
	前後進ボタンに異物がはさまっている		異物を取除く
	ブレード回転 ON/OFF スイッチが持ち上がっている		ブレード回転 ON/OFF スイッチを押す
	アクセルペダルを踏んでいる		アクセルペダルを放す
	パーキングブレーキがかかっていない状態で電源をオンにしている		ブレーキペダルを1回踏む
V16	操作エラー	ブレード回転 ON/OFF スイッチを押した状態でシートに操縦者不在	シートに操縦者が座って、ブレード回転 ON/OFF スイッチを押す
		アクセルペダルが踏まれている状態でシートに操縦者不在	シートに操縦者が座って、アクセルペダルを放す
		バックで草を刈るときの操作順序の間違い	ブレード回転 ON/OFF スイッチを押してからアクセルペダルを放す
		逆方向へ草を刈るときの操作順序の間違い	
		草刈り中に操縦者が1秒以上シートを離れた	
V18	スロットルエラー	ポテンションメータの接続異常	メーカー、購入店に問い合わせ
		ポテンションメータの故障	
V27	バッテリー挿入口カバーエラー	操作者がシートに座っているときにバッテリー挿入口カバー異常	メーカー、購入店に問い合わせ
		シートスイッチの故障	
T11	モーターが動かない	高電圧のバッテリーパックを感知	バッテリーパックを確認
T12		低電圧のバッテリーパックを感知	
		バッテリー容量の少ないバッテリーパックが挿入されている	
T13		モーターへの電流が高すぎる	メーカー、購入店に問い合わせ
T14		ギアボックスの固着	
T15/T21		モーターとコントローラー間のコネクターの緩み	

操作パネルエラー表示のご案内

エラー表示	症状	原因	対処
T17	モーターが動かない	コントローラーの温度異常	本機の電源をオフにして、本機内部の熱が下がってから電源をオンにする
T18		モーターの温度異常	本機の電源をオフにして、本機内部のモーターの熱が下がってから電源をオンにする
ML11	ブレードが回転しない	高電圧のバッテリーパックが挿入されている	バッテリーパックを確認
MR11		高電圧の間違ったバッテリーパックが挿入されている	
ML12		低電圧の間違ったバッテリーパックが挿入されている バッテリー電圧低下	
MR12		低電圧の間違ったバッテリーパックが挿入されている バッテリー電圧低下	
ML13/ML14 MR13/MR14		モーターの過負荷	刈高調整レバーを一番上に上げて速度を落とす
		刈刃ハウジング内に異物がある	刈刃ハウジング内を清掃
	刈刃が固いものに当たった	本機の再起動	
V24		バッテリーパックの電力不足	バッテリーパックを確認
ML15 MR15		左 / 右ブレードモーターとワイヤー間のコネクターの緩み	メーカー、購入店に問い合わせ
		左 / 右ブレードモーターの故障	
ML16 ML18 MR16 MR18		左 / 右ブレードモーターを制御する基盤の故障	
ML17 MR17		左 / 右ブレードモーターとコントローラー間のコネクターの緩み	
ML21 MR21		左 / 右ブレードコントローラー過熱	本機の電源をオフにして、コントローラーの熱が下がってから電源をオンにする
ML22 MR22		左 / 右ブレードモーターとコントローラー間のコネクターの緩み	メーカー、購入店に問い合わせ
		左 / 右ブレードモーターの故障	
ML23 MR23		左 / 右ブレードモーター過熱	本機の電源をオフにして、モーターの熱が下がってから電源をオンにする
ML25 MR25		左 / 右ブレードコントローラーとワイヤーハーネス間のコネクターの緩み	メーカー、購入店に問い合わせ
PMU10	電源回路異常	ヒューズの破損	
PMU11		基盤の過熱	本機の使用頻度を減らす
PMU12		基盤保護機能が動作	本機の再起動
		本機のパワーが低下	バッテリーパックの容量確認
		バッテリー室の故障	メーカー、購入店に問い合わせ
PMU13		挿入したバッテリーパックの異常	指定バッテリーパックの交換
	挿入したバッテリーパックの故障		

困ったときの対処法

症状	原因	対処
アクセルペダルを踏んでも動かない	バッテリーパックが挿入されていない	少なくとも1個のバッテリーパックを挿入する
	バッテリーパックが容量がなくなっている	バッテリーパックの容量を確認し、充電する
	パーキングブレーキがかかっている	パーキングブレーキを解除
	シートに人が座っていないか、またはシートスイッチが接続されていない	シートに操作者が座していることを確認 シートスイッチの接続を確認 (P.14 参照)
	電源オン時にブレード回転 ON/OFF スイッチが元の位置ではない	ブレード回転 ON/OFF スイッチを元の位置に戻す
	バッテリー室の放電システムがスリープ状態	電源をオフにしてから5秒後に電源をオンにする
	パーキングブレーキがかかっていない状態で電源オン時にして、アクセルを踏んでも安全のため、動かない	一度、ブレーキペダルを踏んでから、アクセルペダルを踏んでください。
走行中の突然の停止	バッテリーパックが消耗している	バッテリーパックの容量を確認し、充電する
	でこぼこの道で振動によってシートスイッチが外れている	本機を再起動して、正常に動作するか確認 シートスイッチの接続を確認 (P.14 参照)
	アクセルペダルの故障	メーカー、購入店に問合せ
	本機の内部コントローラーの故障	メーカー、購入店に問合せ
ブレード回転 ON/OFF スイッチを上げててもブレードが動かない	正規のバッテリーパックではない	バッテリーパックを確認
	バッテリーパックが消耗している	バッテリーパックの容量を確認し、充電する
	シートにしっかり座っていない	シートにしっかり座る
	電源オン時にブレード回転 ON/OFF スイッチが押されていない	ブレード回転 ON/OFF スイッチを押して、再起動
	ブレードモーターが他の機能保護によってブロックされている	刈高調整レバーを一番上に上げて、ブレードとモーターの間に草や異物がなく、ブレードがスムーズに回転できるか確認
刈り取り中、ブレードの動きが止まる	ブレードモーターの過熱	本機の電源を5分間オフにして熱を冷ます
	刈刃ハウジング内に草や異物で詰まっている	刈刃ハウジング内を清掃
	ブレードモーターの過負荷	ブレード回転 ON/OFF スイッチを押して、再起動 刈高調整レバーを一番上に上げるかブレードを保護するために運転停止
	バッテリーパックの過熱	バッテリーを充電
	バッテリーパックの電圧不足	本機の電源をオフにして5秒後にオン
	ブレードに異物が当たり、保護機能で緊急停止	本機の電源をオフにして5秒後にオン
	刈刃ハウジング内に異物がありブレードの動きを妨げている	刈刃ハウジング内の確認・清掃
後進でブレードが動作しない	リバースモードボタンが押されていない	リバースモードボタンを押す
	ブレード回転 ON/OFF スイッチを持ち上げていない	スイッチを上を持ち上げる
刈り取りが不均一になる	ブレードの摩耗または損傷	交換
	刈刃ハウジングの位置がずれている	刈刃ハウジングの高さが均等になるよう調整

困ったときの対処法

症状	原因	対処
設定した刈高にならない	刈刃ハウジングの取付けボルトの緩み	刈刃ハウジング内のボルトの確認
	刈刃ハウジングの摩耗または損傷	交換
刈高の設定した以上に草を刈すぎる	草が濡れている	草が乾いてから刈取る
	草の量が多すぎる	草が密集している場合は刈高調整レバーを上げて、密集した草を避ける
運転中に激しく振動する	ブレードの欠けや変形	交換
	ブレードの緩みや外れ	ブレードを付け直す
	ブレードのモーターシャフトの曲がり	メーカー、購入店に問合せ
	刈刃ハウジングの取付けボルトの緩み	刈刃ハウジング内のボルトの確認
	刈刃ハウジングの摩耗または損傷	交換
	草の量が多すぎる	草が密集している場合は刈高調整レバーを上げて、密集した草を避ける
刈取り効果が良くない	草が濡れている	草が乾いてから刈取る
	走行速度が速すぎる	速度を遅くする
	草が高くなりすぎてる	草の高さが約 15 センチを超える場合は刈高を複数回に分けて刈取る
本機の走行方向がずれる	左右のリアタイヤの空気圧が違っている	空気圧を点検する
清掃後に本機が動かない	間違った清掃方法	本説明書に準じた清掃を行う
	バッテリー室への水の侵入	乾燥した場所に 12 時間置いて、乾燥させる 使用前に乾燥させる
	キースイッチの故障	メーカー、購入店に問合せ
ハンドルがスムーズに回らない	車輪のギアとトランスミッションの間に異物が詰まっている	異物を取り除く、ギアオイルを入れる
	ギアオイルの不足	ギアオイルを入れる
	ステアリング部分の欠けや変形	交換
下り坂でブレーキペダルを踏んでも進んでしまう	タイヤの摩耗	交換
	ブレーキペダルの損傷や摩耗	交換
ヘッドライトスイッチを押してもヘッドライトが点灯しない	バッテリーが消耗している	充電をする
	ヘッドランプが破損している	ヘッドライトを交換
	配線が破損している	電気設備店、メーカー、購入店に問合せ
バッテリーに充電できない	バッテリーの破損	交換
	バッテリーの配線不良	電気設備店、メーカー、購入店に問合せ
	充電器の破損	交換

消耗品一覧

商品名	商品コード	
ブレードセット (ワッシャ/ボルト/スペーサー付き)	crt426p001	
フロントタイヤ	crt426p002	
リヤタイヤ	crt426p003	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品・部品をご注文の場合は、下記各サイトよりご注文ください。



本店サイト
<https://www.haigeshop.net/>



楽天サイト
<https://www.rakuten.co.jp/haige/>



ヤフーサイト
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/haige/>

※電話や FAX でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能的影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガーまたは販売・修理店

②受付
③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障部品を発送いたします。

ハイガー

③受付
④故障内容の確認
⑥お見積り了承
⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

②受付 ③故障内容の確認 ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



年中無休受付
※年末年始等除く

カスタマーサポートセンター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、
最新版は以下のサイトよりご確認ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

HAIGE

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



年中無休受付

※年末年始等除く



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

